

地区だより

令和5年3月1日発行

# ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,965人 女 20,466人  
計 39,431人  
世帯数：20,897世帯  
(2月1日現在)



【編集発行】

福島市役所広聴広報課  
〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎525-3710 ㊚536-9828

## 市からのお知らせ

### 中央地区のまちづくりのため、さらなる連携を！

1月11日、クーラクーリアンテサンパレスにて、中央地区町会連合会新年会を開催しました。

町内会長など41人が出席し、来賓として市長、市議会議長のほか、中央地区にゆかりのある国会議員、県議会議員、市議会議員にご臨席いただきました。

引地洲夫連合会長は、住民自治組織である町内会が果たす役割の重要性について話し、中央地区のさらなる発展のため行政との連携意識を高めていきたいとの意気込みを語りました。

■問/地域共創課 ☎525-3731



### 地域のためにみんなで参加しよう!! 令和5年度集計スタートしました!!

「健康づくりで競争(共創)チャレンジ」は、2月1日から令和5年度の集計期間がスタート!! 令和6年1月末までの地区ごとの参加率や平均ポイント数などに応じて、各地区の「ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会」にまちづくり資金が交付され、地域の活性化や環境美化事業などに活用されます。

中央東・中央西地区の皆さん、「ふくしま健民アプリ」で、地域のために健康づくりに取り組みましょう。

■問/地域共創課 ☎525-3731

#### Step1

アプリをダウンロード



iOS版



Android版

#### Step2 地区登録

①「お知らせ」をタップ!!

②「健康づくりで競争(共創)チャレンジ」をタップ!!

③【地区情報登録はコチラ】からお住まいの地区を登録します

詳しくは市ホームページをご覧ください



### 令和5年度個人市・県民税申告

■期日/3月7日(火)・8日(水)

■時間/午前9時30分~午後3時

※終了時刻の30分前までにご来場ください。

■場所/アオウゼ 多目的ホール

※他の地区の会場でも申告ができます。詳しくは「市政だより2月号」または市ホームページをご覧ください。

■問/市民税課 ☎525-3792 525-3712

### 所得税の確定申告

今年の所得税の確定申告作成会場は「アオウゼ 大活動室」です。市・県民税の申告とお間違のないようにご来場ください。なお、会場への入場には当日配布または、LINEから取得できる「入場整理券」が必要です。

■問/福島税務署 ☎534-3121

# 中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター  
〒960-8018 福島市松木町1番7号  
☎534-6631 ☎533-7592

## 受講生募集！

### ふるさと学びカレッジ 「ふくしまタイムスリップ」

- 日時 ①3月19日(日) ②3月26日(日)  
①②とも午前9時30分～11時50分(終了予定)  
※全2回の連続講座となります
- 場所 中央学習センター(集合・解散)
- 内容 当時の人々の行き交う様子を浮かべながら  
主要箇所にて解説を行います。  
①タイムスリップin福島城  
②タイムスリップin阿武隈川  
①②周辺を歩きながら聴講します。福島の歴史に興味のある方はぜひご参加ください。
- 講師 元福島県立博物館 主任学芸員 荒木 隆氏
- 対象者 中央地区在勤・在住の方
- 定員 15名(先着順)
- 参加費 無料
- 準備物 雨具、筆記用具等
- 申込み 3月1日(水)より  
市かんたん申請または中央学習センター窓口にて



### 市民学校「地域の防災力アップ講座」

- 内容：①第1回 3月11日(土)  
応急手当を学ぼう！  
救急安心お守りカードを作成しよう  
②第2回 3月15日(水)  
災害を体験し、災害について学ぼう  
～福島県危機管理センター見学  
③第3回 3月18日(土)  
家庭における身近な防火対策
- 時間：午前10時～11時30分
- 場所：①③中央学習センター  
②福島県危機管理センター
- 対象者：中央地区在住、在学、在勤の方
- 定員：15名(先着順)
- 参加費：100円(資料代)
- 申込み：2月20日(月)より  
市かんたん申請または中央学習センター窓口にて



日本棋院あぶくま碁友会様  
よりご寄付いただきました

12月28日、日本棋院あぶくま碁友会様より、中央学習センターへ囲碁の対局時計10個をご寄付いただきました。学習センター事業等で大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



### 令和やさしい地元学

### 信夫野・歴史の細道 最終回

ふくしまけん歴史の案内人の会 会長：紺野義行氏  
(元福島県遺跡の案内人の会)

#### 東北戦国時代の終焉ー常光寺と豊臣秀次

およそ4百年前、東北戦国時代の終焉を告げる最後の反乱が起きた。戦後、その祝勝会が常光寺で開かれた。常光寺は現在福島市清明町に境内を構える寺で、創建が永正3年(1506)の開山と伝えられている。

九戸の乱は天正19年(1591)、南部氏の一族の有力者九戸政実(くのへまさざね)が、南部家当主の南部信直および奥州仕置きを行う豊臣政権に対して起こした反乱である。九戸氏は、南部氏始祖である南部光行が建久2年(1191)に地頭職として陸奥国糠部郡(ぬかのぶぐん：青森県東部から岩手県北部)に入部して以降、その六男が九戸郡(岩手県北部)に入部して九戸氏を称したとされる。室町幕府からは南部宗家と同列の武将と見られていた。南部家第24代当主の晴政の死後、激しい家督争いが始まり、奥州仕置きへの不満と重なり九戸勢の反乱となった。九戸以外にも、奥州では大規模な一揆が起きていたため、これらの総鎮圧を目的として秀吉は同年6月奥州再仕置き軍を編成した。白河口には豊臣秀次(秀吉の甥)を総大将に率いられた3万の兵に徳川家康が加わり、相馬口には石田三成、佐竹義重が当てられ、伊達政宗、最上義光らをこれら諸将に入るよう指示した。再仕置き軍は一揆を平定しながら北進する蒲生氏郷、浅井長政らと合流した。9月4日、九戸勢は降伏し、戦後処理の後、政実ら主だった首謀者たちは集められ栗原郡三迫(宮城県北部)で処刑された。

同年12月、秀次は秀吉から関白職を譲られ聚楽第に入った。常光寺は関白秀次より百貫の御朱印地を受け、放木田村に免除地50石も認められた。秀吉の奥州仕置きはこの乱の鎮圧をもって終了し、同時に東北の戦国時代も終焉した。大森の城下町が戦略上の重要な拠点として評価され城下町の整備が必要になった。翌年、天正20年(1592)、大森城主木村吉清により大森の城下町は福島に移転し、居城も杉妻城に移され、改称されて福島城となった。常光寺も大森から現在の清明町へ移転し、その後福島藩板倉氏の菩提寺となっていた。

「信夫野・歴史の細道」はこの回で終了となります。

長い間ご愛読いただきありがとうございました。



清明町の常光寺

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容に変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。